

【Press Release】

報道関係者各位

2022年3月16日

株式会社シグマクシス・インベストメント

シグマクシス・インベストメント、訪問看護に特化したクラウド型訪問看護専用電子カルテを提供する eWeLL 社の株式を取得

株式会社シグマクシス・インベストメント（本社：東京都港区、代表取締役社長：柴沼俊一、以下「シグマクシス・インベストメント」）は、このたび、訪問看護ステーション向けにクラウド型訪問看護専用電子カルテ『iBow（アイボウ）』を開発・提供する株式会社 eWeLL（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：中野剛人、以下 eWeLL 社）の株式を取得いたしましたので、お知らせいたします。



eWeLL 社は、医療従事者である訪問看護ステーション向けに、訪問看護専用電子カルテの業務支援 SaaS『iBow（アイボウ）』を開発・提供し、訪問看護業務のデジタル・トランスフォーメーションを推進しています。iBow は現在全国 47 都道府県の訪問看護ステーション 2,000 箇所以上で導入されており、これまで紙ベースでマニュアル管理されていた慢性期医療情報のデジタル化を推進し、そのデータを利活用することで、訪問看護サービスの品質向上を支援しております。また、新薬の在宅治験支援など、慢性期医療情報を活用した新規サービスを展開しています。

日本の高齢者人口の増加や新型コロナウイルス感染症の蔓延を背景に在宅療養の需要が増加し続ける中、訪問看護ステーションは人々の生活を支える核となります。シグマクシス・インベストメントは、eWeLL 社の訪問看護ステーション業務支援サービスの需要が更に高まると考え、今回の株式取得を決定しました。2022年2月22日に eWeLL 社の新株予約権を譲り受け、3月14日に新株予約権の行使を通じて eWeLL 社の普通株式を 1.6%取得いたしました。取得金額は 1.35 億円となります。

シグマクシス・インベストメントは、地球資源を賢く活かしながら、人々の暮らしを豊かにする領域（リジェネラティブ&ウェルビーイング）を投資領域と位置づけ、今後も持続可能な社会の実現にむけた価値創造を支援する投資事業を推進してまいります。

■出資先概要

社名：株式会社 eWeLL(イーウェル)

設立：2012年6月11日

本社：大阪府大阪市中央区備後町三丁目3番3号

代表者：代表取締役社長 中野 剛人

事業内容：訪問看護ステーション向け業務支援サービスの提供

ウェブサイト：<https://ewell.co.jp/>

以上

■シグマクシス・インベストメントについて

株式会社シグマクシス・インベストメントは2021年4月に設立された、シグマクシス・グループの投資事業を担う投資会社です。地球資源を賢く活かしながら、人々の暮らしを豊かにする領域（リジェネラティブ&ウェルビーイング）を投資領域と位置づけ、ベンチャー投資・グロース投資など戦略的な事業投資、コンサルティングサービスとの連携を通じたジョイントベンチャーの設立等、価値創造を支援する投資業務を推進しています。株式会社シグマクシス・ホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：富村隆一、コード番号：6088 東証一部）の100%子会社です。詳しい情報は <https://www.sigmaxyz.com/sxi/> をご覧ください。

■シグマクシス・グループについて

シグマクシス・グループは「コンサルティング」と「投資」を事業の軸として、グループ各社が有するネットワーク力を生かして、様々な産業および企業の価値創造、社会課題を解決する新たな市場や事業の創出を行っています。コンサルティング事業は、事業戦略立案、業務変革、デジタルテクノロジー、クラウドソリューション、プロジェクトマネジメント、新規事業開発およびイノベーション創発のプロフェッショナルを揃え、多様なプロジェクトを通じて価値創造を推進しています。投資事業は、高度なデジタル技術の活用や、「まちづくり」「食・健康」など、複数の産業をつなぐ領域の投資案件を中心に手掛け、コンサルティング事業との連携で投資先企業の成長および企業価値向上を支援します。

詳しい情報は <https://www.sigmaxyz.com/> をご覧ください。